

# ぞうえん山梨

豊かな緑で山梨の未来を創る!



第3回街路樹フォトコンテスト最優秀賞

「用水池の夕照」 青木 国雄 作品

## 目次

■会長あいさつ……………	2項	■街路樹フォトコンテスト……………	7項
■天龍寺に想う……………	3項	■特集 40周年協会のおゆみ……………	8項
■山梨のまちづくりと造園……………	4項	■青年部の活動……………	11項
■きづかいの森……………	6項	■会員名簿……………	12項

## 協会の社会貢献活動について



(一社)山梨県造園建設業協会  
会長 石原 政人

(一社)山梨県造園建設業協会会長に就任して以来、役員と一丸となって造園技術の向上と協会の健全な発展に努めてまいりましたが、昨年は協会が創立40周年を迎え、歴代会長や協会功労者とともに後藤知事や国会議員、県幹部の方を始め多くの来賓の方々をお迎えして40周年記念祝賀会が盛況の内に開催できましたことを感謝申し上げます。

また、日頃より協会活動に対しましても、格別なご支援ご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。協会も一般社団法人化して4年が経過し、公益目的で行う社会貢献事業の推進が協会事業の大きな柱となってきております。こうした社会貢献事業のための予算を確保しながら「街路樹フォトコンテスト」は回を重ね現在、第4回街路樹フォトコンテストの作品を募集中であります。

「きづかいの森」事業につきましては地球温暖化防止、水源涵養、県土保全等、森のもつ公益的機能の確保のため、企業の森事業の推進を目的に平成21年8月より県の仲立ちで富士川町平林地区(民有林5.1ha)において環境緑化に資する社会貢献事業として「やまなし森づくり」事業を実施しております。平成25年度からは3年計画で作業場所を甲府市緑ヶ丘スポーツ公園の「湯村山自然観察路」に移して事業を実施し、平成28年度からは公益財団法人オイスカと協働で山梨市水口地内の「ライオン山梨の森」事業に参画しながら協会の造園技術を活かした提案や技術支援を行い、ライオン(株)から感謝と共に引き続き事業への協力をお願いされております。

技術講習につきましては、古くから伝わる日本庭園の伝統技術の継承、習得を目的に農林高校において学生と共に若手技術者が龍安寺垣根の制作作業を実演し、高校に龍安寺垣根を寄付いたしました。

また、人材育成事業の一環として県内の高校生を対象に造園技術の出前講座を実施しており、これからも社会貢献の効果をより高めていくため、行政機関や山梨大学の北村眞一センター長を始め大学等教育機関とも連携を深め、広く県民の皆様から評価を受けられる事業を展開してまいります。

## 平成28年度 第4回定時社員総会開催

平成28年5月27日、造園建設業会館において造園建設業協会・第4回定時社員総会が開催されました。

総会に先立ち、来賓として出席した宮川典子衆議院議員、望月一良県土整備部都市計画課・課長より祝辞を頂いた後、協会功労者表彰が行われ、(株)芝保・森下武、(株)石原グリーン建設・黒部克、(株)津々美造園・深澤寛、河野造園土木(株)・竹村大悟、山梨ガーデン(株)・雨宮浩史、(株)富士グリーンテック・澤登大介の6氏が石原会長より表彰されました。

総会では平成27年度決算報告、平成28年度事業計画、平成28年度収支予算が全会一致で承認されました。



# 天龍寺に想う

Landscape  
YAMANASHI



山梨大学 地域未来センター  
センター長 北村 眞一

借景の亀山一帯は明治時代から嵐山国有林の風致保安林となり森林管理がなされ、嵐山の一帯は、街並みも含めて都市計画の風致地区に指定されるなど様々な規制区域に指定されて景観が守られています。

近年の問題は自動車の駐車場による敷地の侵食で、本来のお寺の姿が脅かされないようにする対策も必要と思われま

京都嵐山の天龍寺に客人を案内することがあって、改めて美を堪能してきました。魅力的な嵐山の天龍寺は、どのようにつくられ、持続してきたのでしょうか。

天龍寺は足利尊氏が幕府を鎌倉から京都の室町に移し、後醍醐天皇を追放し光明天皇を立てて戦乱の南北朝時代に入ったことに発端があります。夢窓国師は後醍醐天皇が亀山殿の行宮に入御する夢をみて、南朝の吉野で崩御した後醍醐天皇の鎮魂のために、足利尊氏を説得して亀山離宮(別荘)を改造し、禅宗の寺院「天龍寺」を開山させました。亀山を借景に眺めることができるように、大方丈(方丈)と書院(小方丈)そして池泉式の庭を配置しています。

夢窓国師は、元の庭園に手を加えて、現在に近い形にしたものと言われています。天龍寺は1339年の創建以来約670年を経て、過去8回の大火で焼失した



▲渡月橋



▲天龍寺庭園

周囲の山と斜面、そして山裾を保全し、併せて大文字などの山を見る景観の保全がされています。

寺院の庭と景観を管理するには「歴史と由来」、「寺の経営:宗派・思想・仕事・生活・行事・財政」、「敷地の選定と建物と庭と道の配置」、「建築と部屋の造りと利用」、「庭の造り」など歴史や文化財関連情報が大事ですが、土木、森林、都市計画など地域の環境保全の制度も重要な役割を果たしています。

また1994年には古都京都の文化財の一つとして天龍寺は世界遺産に登録され、日本国は永続的にここを保全するという意思を表明しました。山と川の出合う扇状地の扇頂部に位置する嵐山一帯は水害もありますが、大堰川というように堰を設けた利水の要所でもあり、何より風景の名所です。京都には今でこそ市内や山裾の眺望の良い位置に寺院が分布しますが、もともと平安京では東寺と西寺以外は都に寺院建設を許さなかったことや山裾にあった貴族の別荘が寺院に変わっていった歴史があります。京都の都市計画や景観計画では、市街地内の歴史地区、



▲天龍寺

(注) 夢窓国師(むそうこくし)は恵林寺を開山した山梨でも縁のある禅宗の高僧です。

# 山梨のまちづくりと造園



山梨大学生命環境学部・地域社会  
システム学科  
教授 大山 勲

## 1. 造園業は環境を創造する業

造園 (Landscape Architecture) は自然・生物・地形を活かして空間・景観・環境を総合的に創造する仕事。地域資源を発見しそれを生かす仕事。

## 2. 空間・景観デザインの基本的考え方は変わっていない

県内では30年以上前から「歴史・地域資源(その場に備わった素質)を大事に活かす快適空間づくり」や「住民行政協働のまちづくりによって空間づくりをおこなうプロセス」が提案されてきたが、一部しか実現せず、また実現しても継続しない状況が続いた。一方でこの30年間、地域資源を発見し地道に活かし、地域資源を官民協働で継続的に再生する努力をしてきた地域(三島、松本、京都、金沢、富山、倉敷、小布施、川越、松代、町田、など多数の例)では、今、経済もコミュニティーも活性化しつつある。この30年で、地域間で大きな差がついてしまった。それは何

か新しい経済政策や外からの誘致ではなく、地域の素質に愛着と誇りを持ち、そこに備わる自然や先人から受け継いだ空間特徴を市民と行政が協働して地道に再生する努力の積み重ねによる結果である。



▲水・緑の再生(三島市 源兵衛川)

## 3. 地域資源としての「緑(自然素材)」の重要性

人を惹きつける魅力的な地域の要素として、緑の重要性を再認識すべき。緑の効果は「人の生存を支える意味的效果」「地域らしさ(気候・土・水・文化)を表す」「日常の潤い・美しい景観の主役」「微気候調整による快適性」など様々。緑はそれ自体が主役になり、「季節・時間・水・石・建築



▲自然素材は多様な色と肌理

・道・広場・眺望、食・遊」の脇役になる。良い景観要素を挙げてもらう調査では緑は最多で、景観に緑を加えると評価が上がり、緑を排除して人工素材を増やすと評価が下がる。しかし擬木や型枠擬石は評価が下がる。コンクリートでも植物・苔・カビの付着が景観評価を上げる。自然素材は多様な色・肌理から成っている。人は擬木など偽物を瞬時に見分ける。単調な面(道路塗装や太陽光発電パネル)は自然素材の対極。



▲住民協働(松本市 中町)

## 4. 山梨の緑の特徴

地域資源を活かすことはデザインの基本。そこで山梨の緑の特徴を考えてみる。人の暮らす平地は「常時は水が無く洪水時は流路が変化するほどの扇状地・コニーデ山麓」と「水のありすぎる低地」が卓越し、どちらも緑には過酷な地域。また自然と闘うために水防林・防風林など人工の緑が生まれた。平地に緑は少ないが、山の遠景の緑は豊かで人々の意識はそこに向いている。

### (1) 大樹はご神木

大樹が育ちにくい環境だからこそ、神を置き大樹を大切にしたのではないかな?

### (2) 山の神への視線

古代の大蔵経寺山・鳥居平・蜂城山などへの軸線、中世武田氏城下町の甲斐駒ヶ岳への軸線、江戸城下町の愛宕山への軸線、など山を意識した空間形成(道路や眺望点)は重要な資源。



▲祠が守る大樹

# 大山教授

Landscape  
YAMANASHI

## (3) 場所霊 (ゲニウスロキ)

結界に道祖神が置かれ祭りが継承。その他にも結界の一本松などが各地にある。これは重要な地域資源。

## (4) 緑の少ない居住地での緑への希求



▲路地の緑

密集地の路地・横丁への緑(植木等)の表出、農家の緑(庭・外構)のデザインセンスは誇るべき資源。

## (5) 田舎らしさ

都会を真似せず田舎らしさを磨く努力が必要。歴史資源(近代遺産も資源)を守り活かす。例えば農村集落の道の屈曲は農村景観の基盤的な資源。道の屈曲によって人の距離に空間が囲まれ視線の先の緑・建物が映える。



▲山の神への視線

## (6) 眺望 (山々と盆地)

山梨の地形特徴がつくる眺望景観は重要な資源。子孫に残したい大切な場所調査では山々の眺望が多く挙げられる。優れた眺望視点場は俯角10



▲眺望と近景

度と近景の緑(植栽)と佇む快適な場が要=景観づくりは視点場づくり。眺望を引き立てる街路樹や、辻場の大樹や、眺望の視点場の設えが、山梨では重要か?



▲洗練された農家のデザイン

## 5. 緑は「まちづくり」を育てるチャンス

「まちづくり」とは「地域環境を良くするために、市民が主体となり行政と協働して行う総合的な活動。その活動を通じてコモンズ思想(地域を「私たち共通の家」のように見なす意識)を復活させ、環境改善の実践を永遠に行う取り組み」。公園や街路樹は「まちづくり」を育てるチャンス。例えば

街路樹やポケットパークの植栽設計への市民参加は人々のコミュニケーションを復活させる可能性。例えば子供に魅力的な緑・水の遊び空間が未来の環境づくりの担い手を育てる。

## 6. 歴史との連続

戦後日本は短期的経済効果のみ優先してきた。失った前近代の「自然と人間の共生の設えの知恵」や、「都市が繁栄していた時の空間基盤(ストック)」を再評価したい。例えば歴史との連続・保存と現代の生活を融合している欧州の例。例えば規制によらないで歴史と連続した建築再生が実現している県内の例。



▲微地形による農村の道の屈曲



▲住民の価値観が表れている

## 7. リニア時代への期待

何もしなければ乱開発と大都市への流出。山梨の資源を活かした本物の景観・文化を生かせば定住人口や世界からの交流人口を惹きつける可能性。例えば中国人観光客への意識調査では「住民の生活文化を知る」「本物(歴史の連続した)の景観」が満足度に最も影響を与えていた。山梨が備えている景観を磨き文化を継承する人々を育てることがリニアの効果を得る唯一の方法ではないかと思う。

(平成28年10月8日ベルクラシックにて、大山教授「創立40周年記念講演」より要約)

# 事業委員会活動報告

## きづかいの森「ライオンの森」での森林整備事業について

きづかいの森は地球温暖化防止、水源涵養、県土保全等、森のもつ公益的機能の確保のため、平成21年より富士川町平林地区において実施、平成25年度からは甲府市緑ヶ丘スポーツ公園の「湯村山自然観察路」に場所移して事業を実施し、平成28年度からは公益財団法人オイスカと協働で山梨市水口地内の「ライオン山梨の森」事業に参画しながら協会の造園技術を活かした提案や技術支援を行っています。

ライオン(株)は山梨市水口地内の山林で伐採や植林など森林整備を10年以上続けて来ており昨年からは協会もこの活動に参画しています。

平成28年度の活動は

- 第1回目 4月15～16日
  - ・丸太柵用丸太の加工、丸太柵設置20m
- 第2回目 5月25～26日
  - ・丸太柵設置70m
- 第3回目 11月1～2日
  - ・ライオン広場周辺の整備、除草などを行いました。



▲作業後皆さんで記念写真

第3回目には、記念すべき作業30回目として、ライオン(株)・濱社長、山梨市・望月市長の参加による、開会式、当協会寄贈のイロハモミジの記念植樹、ライオン広場周辺の除草作業を行いました。



▲5月25～26日木柵設置



4月15日  
▼木柵設置の様子



▲丸太切りの様子



▼小川整備の様子

第1回目には、丸太柵設置のための長さ4mのヒノキ材を半分にして、残りを三等分し先を尖らせて杭の加工を行い、材料作りから始めました。当日は、山梨市立八幡小学校の児童24名、ライオンの社員と総勢41名で6班に分かれて作業を行いました。翌日の16日にはライオン20名と丸太柵作りを行いました。

第2回目は新人研修と位置づけ、25日には42名、26日には43名が6班に分かれ、1回目に作った丸太柵の材料で丸太柵設置70mを行いました。



▲11月1～2日イロハモミジ記念植樹での集合写真

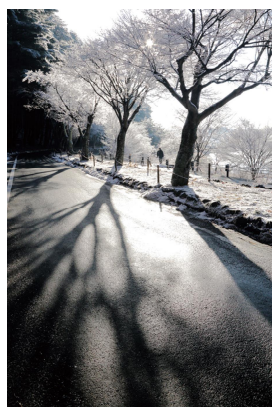
# 第3回街路樹フォトコンテスト

Landscape  
YAMANASHI

## 「街路樹フォトコンテスト」

街路樹は都市空間において良好な景観を形成すると共に二酸化炭素の削減など環境保全に役立っており、こうした街路樹の果たしている役割について理解を深め、その必要性を再認識していくことを目的に実施しております。現在、第4回街路樹フォトコンテストの作品を募集中！

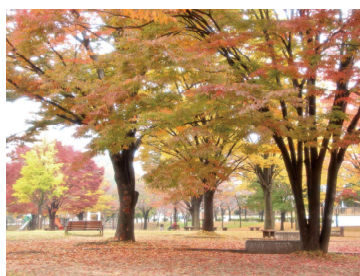
【表紙掲載】 最優秀賞  
「用水池の夕照」 青木国雄 作品  
夕照の美しさに魅せられて撮影した。



優秀賞  
「霧水の朝」  
沼倉司 作品



優秀賞  
「桜見物」  
星野郁男 作品



優秀賞  
「秋のクラクション」  
白鳥正次 作品

入選作品



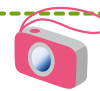
やまなし街路樹

## フォトコンテスト作品募集中

見慣れた風景の中にある街路樹いつもと違う視線で観てみよう

詳細はwebで!

<http://www.zo-en.or.jp>



## 技術委員会活動報告

Landscape  
YAMANASHI

### 「造園の楽しさを知る」未来の造園技術者たちへ



▲サンドガーデンでの実習風景

造園業界への就職を志している高校生を対象とした出張出前講座を農林高校で実施しました。造園学科の1年生には造園協会のこれからを担う若手技術者が講師役となり造園の基礎知識や施工管理、工事事例などを対話形式で進め、生徒と若手技術者が交流を深めました。2年生には実技講習としてサンドガーデンを題材に庭造りの基本を講義した後、生徒が個々に作成実習を行い、豊かな感性を十分に発揮した素晴らしい作品が完成しま

した。

また9月には若手技術者の日本庭園における伝統技術の継承、習得を目的に農林高校において生徒と共に龍安寺垣根の作成を行い、校舎中庭に垣根を寄付いたしました。



▲講師の指導のもと作成風景



▲完成した【龍安寺垣根】

# 40th 協会のあゆみ



1976	1986	1990	1991	1994	1995	2005	2006	2009	2013	2015	2016	
初代会長 石川 彰造	山梨県造園建設業協会 創立 かいじ国体	花と緑のフェスティバル開催 第1回	第2代会長 齊藤 隆夫	山梨造園建設業協会法人化	造園会館落成	第3代会長 埴原喜久男	校庭芝生化実施	第4代会長 齊藤 陽一	災害時支援協定 森林整備協定締結	第5代会長 石原 政人	「やまなし街路樹フォトコンテスト」 かんたん緑化「まち・みどり」 一般社団法人移行	「出張出前講座」 創立40周年
初代会長 石川彰造			第2代会長 齊藤隆夫			第3代会長 埴原喜久男		第4代会長 齊藤陽一		第5代会長 石原政人		



▶協会創立メンバー



▶かいじ国体開催地



▶造園会館落成式



▲協会にて豪雪対応

## 活動の歴史 History of activities



▲JFF コンテスト受賞



▲校庭芝生化



▲森林整備協定締結式



▲災害時支援協定



山梨県知事 後藤 斎様



### 創立40周年記念祝賀会

おかげさまで協会創立40周年を迎えることができました。関係者の皆様に感謝申し上げます、私たちはこれからも、みどりの創出を進めていきます。



県土整備部部長 大久保勝徳様



衆議院議員 宮川典子様



参議院議員 森屋 宏様



自由民主党山梨県支部連合会  
白井成夫様



# 企画開発委員会活動報告

Landscape  
YAMANASHI

企画開発委員会では、山梨県内の眺望ポイント、各地の整備推進箇所を視察検討しています。

美しい県土づくりの一環として、各眺望ポイントを訪れた方々がよりよく利用でき、観光客の方々にも親しまれるような緑化を推進しています。更には、造園会社ならではの提案として、緑化を促進して少しでも緑豊かな街となるようにこれからも活動をしていきます。



▲舞鶴城公園天守台・山梨県立科学館展望台での視察



▲富士河口湖周辺での中央分離帯の視察▲



▲みはらし広場(県道天神平甲府線)



平成28年8月25日

## 表彰

Landscape  
YAMANASHI

### (一社)日本造園建設業協会 会長賞(業績表彰)



(株)アセラ技建  
代表取締役 久保田茂樹氏

当協会員である久保田茂樹氏は平成28年6月22日、東京都千代田区ホテル・グランドアーク半蔵門において開催された日本造園建設業協会総会において、氏の長年の業績が評価され会長賞を受賞した。

### 山梨県環境緑化功労賞



(株)仲村造園  
代表取締役 仲村清輝氏

当協会理事・技術委員長である仲村清輝氏は平成28年10月15日小瀬スポーツ公園で開催された平成28年度山梨県林業まつり記念式典において環境緑化推進の功績が高く評価され後藤齋山梨県知事より表彰された。

### 建設雇用改善優良事業所 山梨県建設産業団体連合会 会長表彰



山梨ガーデン(株)  
代表取締役 依田 忠氏

当協会副会長である依田忠氏は平成28年11月25日アピオ甲府で開催された平成28年度建設雇用改善推進大会において優良事業所として山梨県建設産業団体連合会会長より表彰された。



竹材・木材・石材販売  
笠井造園資材 有限会社

〒409-3866  
山梨県中巨摩郡昭和町西条2461-5  
TEL:055-275-2842 FAX:055-275-5554

総合造園緑化資材、石材砂利、越後の刃物、卸販売

有限会社造園資材センター

〒400-0054 甲府市西下条町1346-1  
TEL:055-220-2553 FAX:055-220-2554

# 山梨県造園安全協議会

## 安全大会開催

平成28年4月22日造園会館にて、県土整備部技術管理課長田守技術審査監にご列席いただき、協議会会員59名が参加し、会員相互の活動内容の把握と安全意識の向上を図りました。

各支部のパトロール結果を報告し、優良企業担当者として(株)帯金造園・遠藤仁、(株)雲松園・三井裕也、(株)石原グリーン建設・奥山文雄の3名が表彰されました。

また加藤講師により「社員育成の企業への取り入れ方と体感コミュニケーション術」と題して講演を開催し、事故を未然に防ぐためには、発注者や各作業員のコミュニケーションをしっかりとることが大切ということを再認識しました。



▲優良企業担当者表彰風景



▲講師によるグループワーク

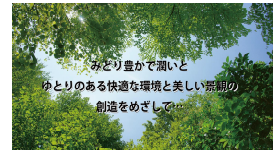
## ホームページリニューアルについて

### 目的

身近にある緑の情報を提供しています。山梨県を緑あふれる県に、また県民の皆様にとって快適な環境と美しい景観を創っていくことを目的とし、[やまなしみどりマップ] や [校庭芝生化Q&A集] を公開しています。

### 方法

山梨県造園協会 検索 (<http://zo-en.or.jp>) [やまなしみどりマップ] の各エリアをクリックすると、その地域に植えられている街路樹・公園の樹木の種類、特徴を知ることが出来ます。[校庭芝生化Q&A集] をクリックすると、芝張りの方法から管理方法まで詳しく回答しております。自宅の庭に芝を張りたいとお考えの方も参考にしてください。



▲HPトップページ



▲みどりマップ



▲校庭の芝生化Q&A集

## 会社紹介



### 有限会社 坂本造園

代表 坂本 篤彦

住所 韮崎市二丁目9-39

弊社は平成15年に設立し、山梨県を中心に近隣地域において一般住宅のお庭の設計・施工・管理や公共施設・工場緑地の植栽工事・維持管理を行っており、お客様の生活や心が、四季折々の花や樹木などの自然を通じてより豊かになるような緑地環境づくりを信念に、社員一同日々取り組んでおります。

また地域への社会貢献活動にも積極的に参加し、樹木の剪定や管理の仕方などの指導も行っております。今後も、更なる技術の向上を目指して勉強と努力を続けていく所存です。

どうぞ、ご指導を受け賜りますようお願い申し上げます。

**STIHL**  
緑化園芸機材・林業/農業機械・鳥獣害対策機器・刃物  
森林アウトドア用品・薪ストーブ・薪ボイラー・除雪機  
保冷库・木材加工機材・保安用品(スパイク付ブーツ等)  
高圧洗浄機・法定器具・キノコ菌類・食品乾燥機

地球への愛、人への優しさ。  
当社は優れた品質で社会に貢献します。

### 山梨スチール株式会社

〒400-0047 山梨県甲府市徳行4丁目13-5 <http://www.yamanashi-stihl.co.jp>  
TEL:055-226-3656 [info@yamanashi-stihl.co.jp](mailto:info@yamanashi-stihl.co.jp)



株式会社 **アセラ**

自然と化学の調和を求め、  
技術アドバイスで農業をリードする。

〒400-0826 山梨県甲府市西高橋町156番地  
TEL 055-235-1968 FAX 055-232-2033

# 青年部の活動報告

Landscape  
YAMANASHI

## 青年部景観事業 造園青年部草刈隊の実施

平成27年度に企画した農村景観維持に向けた草刈隊の事業について取り組み状況を報告します。北杜市、甲斐市の個人農地管理に関して相談が数件あり、現地確認、実施しました。甲斐市の案件では、1年間全く管理することができなかった約800㎡の農地を11月下旬に5名の青年部員で作業を実施しました。まだまだ、認知度が低く依頼件数は少ないですが、継続していくことで広めていくことができると考え活動しています。また、高齢化や農業の後継者不足といった問題もあるため、自治体や農業公社との連携も進めていきたいと考えています。



▲草刈り隊による活動



▲クリーンキャンペーン

### 平成28年度やまなしクリーンキャンペーン

平成28年9月30日(金)青年部員25名がやまなしクリーンキャンペーンに協力し、甲府駅南口にてチラシ(山梨県製作)と花の種(3種類)1,000袋、フォトコンテストチラシ等を駅利用者、周辺住民に配布し、駅前周辺の清掃活動を行いました。



▲PR活動の展示の様子

### 10月15・16日山梨県林業まつり

#### 「森林のフェスティバル」でのPR活動

協会組合青年部主催にて「造園青年部草刈隊」のPRやフォトコンテスト受賞作品展示や苗木・花苗・野菜の販売にて日頃の活動を紹介しました。また、全国造園フェスティバルの広報活動として花の種を無料配付しました。

## 青年部研修旅行

### 国営アルプスあづみの公園を訪れて

失われつつある安曇野の田園風景を保全・復元し、いつでもその景観を楽しむように整備された本公園は、日本で17番目に作られた新しい国営公園です。

青年部研修では、今年の6月に第3期として開園した里山文化ゾーンを緒方センター長から解説頂きながら歩いてまわった。その中で、棚田文化や絶滅危惧種の蝶の保全の取り組み、棚田の展望台からの眺望を楽しんだ。

イベントの企画提案を受け付けたりイルミネーション装飾をおこなったりと、



▲国営アルプスあづみの公園

来園者を増やすための取り組みを行っているが、土地柄や公園の特色上、この時期の来園者の増加は難しそうである。反面、田園文化ゾーンでは「あづみの学校」という地元住民のボランティアによる体験型学習施設やアスレチックがあり、来園者が多く見受けられた。家族や子どもと訪れたい公園である。田園風景の景観をコンセプトにした公園だけあって園内を1日でまわるのが難しいくらいだったが、このように公園として整備するのはとても



▲青年部集合写真

素晴らしいと思う。是非、本県に歴史と自然の調和した果樹大国というコンセプトで信玄堤あたりに国営公園を新設していただけたら、この上ないレガシーになるであろうと妄想してみた。


#### 研修旅行行程

◇1日目11月5日

水野美術館、善光寺、松代大本営跡、上田城を見学

◇2日目11月6日

『国営アルプスあづみの公園』『大庄屋山口家庭園』

 防草シートを使った緑化や頑固な雑草に  
Shirasaki Corporation お悩みの方は1度ご相談下さい!

自然と人間(みんな)と一緒に幸せになる仕事

**株式会社 白崎コーポレーション**

〒409-3601

山梨県西八代郡市川三郷町市川大門5609-1

TEL.080-2950-9893 FAX.055-215-2601

# 会 員 名 簿

50 音順

会 社 名	代表者名	住 所	電話番号/FAX	E-mail/URL
(株)アセラ技建	久保田茂樹	甲府市蓬沢町 1171	(055)233-4617 (055)233-4633	giken@acera-jp.com
(株)石和植木	齊藤 隆夫	笛吹市石和町川中島 378	(055)263-2070 (055)262-4889	isawa@mbd.nifty.com
(株)石原グリーン建設	石原 政人	甲府市高室町 269	(055)241-2001 (055)241-0822	office@green21.co.jp http://www.green21.co.jp
(株)雲松園	大塚 広夫	北杜市小淵沢町 3630	(0551)36-2432 (0551)36-4128	info@unshouen.co.jp http://www.unshouen.co.jp
(有)荻野造園	荻野あさ子	甲府市伊勢四丁目 1-12	(055)235-4045 (055)231-2020	ogino@peach.ocn.ne.jp http://www.oginozouen.com
(株)帯金造園	帯金 岩夫	甲府市池田二丁目 11-12	(055)251-4128 (055)251-4194	office@obikane.co.jp http://www.obikane.co.jp
(株)河口湖庭園	梶原 陽一	南都留郡富士河口湖町船津 4940-1	(0555)72-0635 (0555)72-5435	yozan@kawaguchiko.ne.jp
(有)窪田造園	窪田 司	甲斐市中下条 1673	(055)277-2111 (055)277-8881	kubotazouen@za.wakwak.com
甲南緑化(株)	岩田めぐみ	甲府市高室町 721	(055)241-6136 (055)241-6135	kounan@maple.ocn.ne.jp
河野造園土木(株)	河野 嘉孝	甲府市下飯田二丁目 5-27	(055)222-4396 (055)222-0555	info@kzd.co.jp http://kzd.co.jp
(株)三枝造園	三枝 正雄	富士吉田市松山 1267-6	(0555)22-1174 (0555)22-2219	yamau.s-zouen@tbz.t-com.ne.jp
(有)坂本造園	坂本 篤彦	韮崎市若宮二丁目 9-39	(0551)22-0301 (0551)22-0322	sakamotozouen@bg.wakwak.com http://sakamoto-zouen.com
三協造園(株)	八木 幸彦	西八代郡市川三郷町市川大門 4796	(055)272-6000 (055)272-7777	sankyouzoen@beetle.ocn.ne.jp http://www.sankyo-ls.co.jp
(有)サンリツ造園土木	富岡 信也	中央市若宮 31-11	(055)273-8644 (055)273-8633	sanritsu-2006@topaz.plala.or.jp
(有)敷島緑化土木	石水 通由	甲斐市島上条 1664	(055)277-2530 (055)277-8311	sryokkas@cronos.ocn.ne.jp http://www.shikishimaryokka.jp/
(株)芝 保	藤原 辰男	甲府市貢川本町 18-20	(055)237-7000 (055)224-5555	shib0377@peach.ocn.ne.jp http://shibaho.jp
(有)清水造園	清水 文一	甲府市里吉一丁目 7-21	(055)233-9748 (055)233-9758	shimizu.z@sea.plala.or.jp
(有)志村樹苗園	志村 好啓	甲府市緑が丘一丁目 4-4	(055)253-6983 (055)253-6985	shimura.sdv4@rouge.plala.or.jp
(有)須田造園	須田 良英	笛吹市八代町米倉 729	(055)265-2452 (055)265-3691	suda@arion.ocn.ne.jp http://www.land-s.co.jp
中央造園土木(株)	今村 尚人	甲府市徳行一丁目 9-27	(055)226-4525 (055)226-4573	info@chuouzouen.co.jp http://www.chuouzouen.co.jp
辻緑化土木(株)	辻 宏幸	甲府市朝氣三丁目 3-16	(055)233-9545 (055)233-9542	info@tsuji28.net http://tsuji28.net
(株)津々美造園	堤 明伸	甲府市愛宕町 146	(055)253-2188 (055)253-7835	tsutsumi@mx10.ttcn.ne.jp http://www.tsu2mi.com
(有)東香園	名取 満	南アルプス市十日市場 1828-1	(055)282-0970 (055)282-0952	tou-kou@eps4.comlink.ne.jp
(株)仲村造園	仲村 清輝	北杜市明野町小笠原 3838	(0551)25-2348 (0551)25-2439	naka-la1@aurora.ocn.ne.jp
野尻造園建設(有)	野尻 積道	韮崎市穂坂町宮久保 5122-2	(0551)22-0615 (0551)22-2531	h-nojiri@amber.plala.or.jp
富士観光開発(株)	志村 和也	南都留郡鳴沢村字富士山 8545-4	(0555)86-3311 (0555)86-2440	kensetsu@fujikanko.co.jp http://www.fuji-net.co.jp/
富士急建設(株)	小俣 賢治	富士吉田市新西原五丁目 2-1	(0555)22-7151 (0555)22-7153	fken@fujikyuu-kensetsu.co.jp http://www.fujikyuu-kensetsu.co.jp
(株)富士グリーンテック	齊藤 陽一	甲府市富竹三丁目 1-3	(055)236-1600 (055)224-5520	honsya-soumu@fujigreentech.jp http://www.fujigreentech.jp/
(有)美園造園土木	武藤 洋一	甲斐市玉川 1447-4	(055)276-9241 (055)279-8671	misono610@s2.dion2ne.jp http://www.yamanashi-machitsukuri.jp/misonozouen
(株)明桃園	角野 勝	南アルプス市桃園 968	(055)282-4128 (055)282-4190	meitoen@khaki.plala.or.jp
山梨ガーデン(株)	依田 忠	南巨摩郡富士川町最勝寺 1514	(0556)22-4181 (0556)22-2359	y.garden@cronos.ocn.ne.jp
(有)山宮造園	山宮 一哲	甲府市大里町 3608	(055)241-2256 (055)241-2078	yamamiya@kvj.biglobe.ne.jp
(有)吉井造園	吉井 公人	甲斐市西八幡 4044-6	(055)276-0470 (055)230-6322	yoshii-zouen@ag.wakwak.com